

## 第4回男鹿ゆるやかトーク 議事録

■日 時 平成30年7月19日(木) 18時30分～20時00分

■内 容

1. 前回までのゆるやかトークのおさらい

3. 意見交換(概要)

- ・一般市民に観光について考え、それを話す機会を設けたのはよかった。
- ・魅力を活かしきれていない
  - 魅力を活かしきれていない原因はどこにあるのか突き止める必要がある
  - 男鹿だけでなく秋田県全体に言えることであるが、PRが弱いのではないか
- ・まんべんなくではなく、一つのことに特化したPRは目を引く
  - 例えば、寒風山の星空
- ・弘前のPRはネーミングが上手(例:花いかだ)
  - 行ってみたい、見てみたい気持ちを「後押し」するものをつくる  
(ネーミング、体験、時期、見やすい場所の提示……など)
- ・月に2～3度でも、総合観光案内所を起点にした、男鹿市内をまわる観光バスを運行してはどうか
- ・以前企画していたこともあったようだが、昔の生活路線や遊歩道を使ったトレッキングなどもしてはどうか
  - 時期としては草が生えてくる前の時期
  - 秋は紅葉も楽しめる
  - 温泉起点で動けるため、長期の客入りも見込める
- ・最近遊ぶものを用意するところまでやらないと遊べない人が多い
  - 昔であれば寒風山で肥料袋のそり、ビーチボールひとつでも遊べていた
- ・弘前のPRはネーミングが上手(例:花いかだ)
  - 行ってみたい、見てみたい気持ちを「後押し」するものをつくる  
(ネーミング、体験、時期、見やすい場所の提示……など)
- ・歩け歩け大会は多い時で100人くらいも入込がある
  - 自分一人で行くよりはガイドがいるものに需要がある?